

環境行動計画(エンドレス グリーン プログラム 2026)の実績と自己評価

- 😊 : 2022年度目標達成
 😞 : 2022年度目標未達成(達成率90%以上)
 😟 : 2022年度目標未達成(達成率90%未満)

■気候変動の緩和と適応

チャレンジ・ゼロ	管理指標 (KPI)	2021実績	2022目標	2022実績		2023目標	2026目標	該当ページ	
①まちづくりにおけるCO ₂ の チャレンジ・ゼロ	商品の使用によるGHG排出量削減率(総量) 2015年度比	29.4%削減	35%削減	39.3%削減	😊	45%削減	54%削減	033、142	
	ZEH率	53%	80%	86%	😊	90%	90%	034、143	
	ZEH-M率【賃貸住宅】	3%	10%	14.2%	😊	20%	50%	034、143	
	ZEH-M率【分譲マンション】	35%	15%	67.5%	😊	70%	100%	034、143	
	ZEB率	38%	40%	65.7%	😊	70%	80%	035、143	
	ZEH改修相当棟数	1,478棟	1,750棟	1,472棟	😞※1	3,200棟※イ	3,500棟	035、144	
②事業活動におけるCO ₂ の チャレンジ・ゼロ	再エネ電力販売量	121GWh	150GWh	366GWh	😊	635GWh	702GWh	144	
	事業活動によるGHG排出量削減率(総量) 2015年度比	20.8%削減	25%削減	33.5%削減	😊	50%削減	55%削減	033、148	
	電化の推進—クリーンエネルギー自動車導入率【社用車】	0.3%	1%	1.5%	😊	2.8%	7%	30%	035、153
	電化の推進—クリーンエネルギー自動車導入率【マイカー】	—	—	1.0%	😊	—	2%	10%	038、153
	エネルギー効率 (EP100) 2015年度比	1.47倍	1.54倍	1.50倍	😞※2	—	1.61倍	1.90倍	037、149
	再エネ利用率 (RE100)	18.2%	30%	41.5%	😊	—	購入電力100% 再エネ化	100%	037、150
③サプライチェーンにおけるCO ₂ の チャレンジ・ゼロ	主要サプライヤーによるSBT水準のGHG削減目標設定率	34%	40%	65.9%	😊	60%※ロ	90%	033、154	
	再エネ・省エネソリューションの契約件数(支援件数)	—	5件	9件	😊	15件	50件	040、154	

自己評価(目標未達成の理由・今後の対応)

※1: 2022年度は、省エネ改修全体の件数は増加しましたが、1件あたりの一次エネルギー削減量の減少により、年間の一次エネルギー削減量の総量が減少したことで、ZEH(ZEH Oriented相当)仕様に改修相当棟数は1,472棟となり目標の1,750棟を達成することができませんでした。2023年度より、対象組織に大和ハウス賃貸リフォーム・大和リビングを追加し、高効率給湯器への改修や照明器具のLED改修等を促進します。

注: ZEH改修相当棟数は1棟ごとに様々な断熱・省エネ改修をすることで達成される年間一次エネルギー削減量の合計が、既存のモデル住宅1棟をZEH改修した場合に達成される年間一次エネルギー削減量の何棟分に相当するかを示す値。

※2: 2022年度は、コロナ禍からの回復により、リゾート・スポーツ施設やホテル・介護施設等でのエネルギー使用量が増加したため、エネルギー効率は1.50倍となり、目標の1.54倍をわずかに達成することができませんでした。今後は、新築施設のZEB化を進めるとともに、省エネ投資や運用改善などの省エネ活動を推進します。

※イ・ロ: 対象範囲・算定基準を見直しています。(詳細は、P144・P154参照)

■自然環境との調和(生物多様性保全)

チャレンジ・ゼロ	管理指標 (KPI)	2021実績	2022目標	2022実績		2023目標	2026目標	該当ページ
④森林破壊の チャレンジ・ゼロ	調達木材におけるCランク木材比率	2.7%	3%	3.1%	😞※3	3%	0%	046、158
	森林破壊ゼロ方針設定率【1次サプライヤー】	—	30%	6.1%	😞※4	30%	90%	047、048、158
	森林破壊ゼロ方針設定率【2次サプライヤー以降】	—	5%	—	—	5%	50%	047、048、158
⑤生物多様性損失の チャレンジ・ゼロ	生態系に配慮した緑被面積(累積) 2021年度比	—	+20万㎡	+25.7万㎡	😊	+40万㎡	+100万㎡	046、159
	自社施設の重要サイトにおける管理保全計画の策定・実施率	—	重要度判定	1次スクリーニング完了 重要度判定実施中	—	管理保全 計画策定	100%	051、160
	Daiwa Plastics Smart Projectの推進—プラスチック配布物品代替率【オフィス等】	当社: 81% グループ: 92%	100%	当社: 82.9% グループ: 74.4%	😞※5	100%	100%	046、160

自己評価(目標未達成の理由・今後の対応)

※3: 2022年度は、世界的なウッドショックの影響や、2022年度より調査を開始した中高層賃貸住宅部門のサプライヤーに対する調達方針の展開が未実施だったため、Cランク木材比率は3.1%となり、目標の3%を達成することができませんでした。今後は、Cランク木材の調達先に対して改善を求め、当社グループ全体の木材調達内容の改善に向けた取り組みを推進します。

※4: 2022年度は、森林破壊ゼロ方針策定の必要性をサプライヤーに十分浸透させることができなかったため、森林破壊ゼロ方針設定率(1次サプライヤー)は6.1%となり、目標の30%を達成することができませんでした。今後は、方針未策定の木材調達先に対しては、策定依頼を働きかけるとともに、メンバーシップ制度を立ち上げて方針の共有を図ります。また、方針策定済みの木材調達先については、2次サプライヤー以降にも方針の策定を展開していきます。

※5: 2022年度は、使い捨てプラスチック製品について新規購入分からは紙製への切り替え等を行ったものの、一部在庫の使い捨てプラスチック製品を使用したことにより、プラスチック配布物品代替率【オフィス等】は、当社単体で83%、当社を除く主要グループ会社全体で74%となり、目標の100%を達成することができませんでした。今後も、ガイドラインの周知を徹底し、プラスチック製品の適正利用を推進します。

環境行動計画(エンドレス グリーン プログラム 2026)の実績と自己評価

- 😊 : 2022年度目標達成
 😞 : 2022年度目標未達成(達成率90%以上)
 😡 : 2022年度目標未達成(達成率90%未満)

⑥ 資源循環・水環境保全(長寿命化・廃棄物削減)

チャレンジ・ゼロ	管理指標 (KPI)	2021実績	2022目標	2022実績	2023目標	2026目標	該当ページ	
⑥ 資源利用・廃棄物の チャレンジ・ゼロ	資産有効活用促進件数	3,989件	4,000件	4,276件	😊	4,200件	053、161	
	建物長寿命化促進件数	3,246件	4,500件	8,984件	😊	9,000件	053、161	
	廃プラのマテリアルリサイクル率【生産】	10.9%	10%	16.8%	😊	19%	054、161	
	Daiwa Plastics Smart Projectの推進 — 特定アメニティプラ製品削減率【ホテル】 2021年度比	—	10%削減	2.9%増加	😡※6	20%削減	50%削減	051、162
	Daiwa Plastics Smart Projectの推進 — 特定アメニティプラ製品マテリアルリサイクル率【ホテル】	—	3%	0%	😡※6	5%	50%	051、162
	主要サプライヤーによる廃棄物ゼロエミッション目標設定率	34.5%	50%	34.6%	😡※7	50%	90%	053、162
—	建設廃棄物排出量【生産】(売上高あたり)	57.5kg/百万円	60kg/百万円	53.8kg/百万円	😊	60kg/百万円	164	
	建設廃棄物排出量【新築】(㎡あたり)	20.0kg/㎡	20kg/㎡	19.0kg/㎡	😊	19kg/㎡	164	
	建設廃棄物のリサイクル率	97.7%	97%	97.9%	😊	97%	163	
⑦ 水リスクの チャレンジ・ゼロ	居住用途およびホテルにおける節水機器採用率	89.8%	93%	96.8%	😊	97%	165	
	売上高あたりの水使用量削減率 2012年度比	46.8%削減	36%削減	42.7%削減	😊	37%削減	053、165	
	主要サプライヤーにおける水リスク調査実施率	—	60%	85.5%	😊	90%	058、167	

自己評価(目標未達成の理由・今後の対応)

※6: 2022年度は、当社グループが運営するホテルにおいてアメニティバーの導入施策を実施しましたが、十分な削減効果が得られませんでした。さらに、一部のホテルで製品重量の大きなバイオマス配合アメニティ製品に切り替えたことにより、重量ベースとなる特定アメニティプラ製品削減率【ホテル】は2.9%増加となり、目標の10%削減を達成することができませんでした。また、特定プラスチック製品(アメニティ類)の使用後のマテリアルリサイクル先を探索したものの、業界でも前例が乏しく各社マテリアルリサイクルの実施に至らなかったため、特定アメニティプラ製品マテリアルリサイクル率【ホテル】は0%となり、目標の3%を達成することができませんでした。なお、使用後にマテリアルリサイクルを実施した場合に限り、バイオマス配合分は削減分に計上するものとしています。今後は、マテリアルリサイクルを行う処理業者への委託を進め、削減率およびマテリアルリサイクル率の向上を図ります。

※7: 2022年度は、廃棄物のゼロエミッション目標設定の必要性をサプライヤーに十分浸透させることができなかったため、主要サプライヤーによる廃棄物ゼロエミッション目標設定率は34.6%となり、目標の50%を達成することができませんでした。今後は、業種による廃棄物の課題を整理し、サプライヤーに求める目標レベルを明確にするとともに、廃棄物ゼロエミッションに特化したワーキングを実施し、目標レベルの周知を図ります。

⑧ 化学物質による汚染の防止

チャレンジ・ゼロ	管理指標 (KPI)	2021実績	2022目標	2022実績	2023目標	2026目標	該当ページ
—	室内空気質自主基準適合率	96.2%	100%	97.1%	😡※8	100%	060
	PRTR排出・移動量 削減率(売上高あたり) 2012年度比	69.3%削減	63%削減	70.4%削減	😊	65%削減	060、168
	VOC排出量 削減率(売上高あたり) 2013年度比	38.5%削減	31%削減	35.9%削減	😊	32%削減	060、168

自己評価(目標未達成の理由・今後の対応)

※8: 2022年度は、在来工法による集合住宅の一部の物件において室内空気質の自主基準値を超過したため、室内空気質自主基準適合率は97.1%となり、目標の100%を達成することができませんでした。引き続き、低ホルムアルデヒド放散建材の採用を推進するとともに、今後は、施工時の換気を徹底するなど、取り組みの強化を図ります。

⑨ 環境マネジメント

チャレンジ・ゼロ	管理指標 (KPI)	2021実績	2022目標	2022実績	2023目標	2026目標	該当ページ
—	環境貢献型事業売上高	—	12,000億円	12,762億円	😊	13,000億円	022、138
	eco検定取得者数	19,033人	21,000人	26,135人	😊	28,000人	026、139
	グリーン購入比率	95.6%	95%	97.5%	😊	95%	140
	気候変動の適応策実施状況	—	—	実施中	—	—	040